

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正  
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター
--------------------

### ②施設・事業所情報

名称：岩砂デイサービスセンター	種別：通所介護												
代表者氏名：久世 奈緒美	定員（利用人数）： 35 名												
所在地：岐阜県岐阜市福光東3丁目10番8号													
TEL：058-210-2010	ホームページ：https://yuuaikai-gifu.or.jp/												
<b>【施設・事業所の概要】</b>													
開設年月日 平成15年5月8日													
経営法人・設置主体（法人名等）：医療法人社団 友愛会													
職員数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">常勤職員：</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">11 名</td> <td style="width: 35%;">非常勤職員</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5 名</td> </tr> </table>	常勤職員：	11 名	非常勤職員	5 名								
常勤職員：	11 名	非常勤職員	5 名										
専門職員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（専門職の名称）</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">名</td> <td style="width: 35%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> <td>看護師</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td style="text-align: center;">5 名</td> <td>理学療法士</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> </tr> </table>	（専門職の名称）	名			社会福祉士	2 名	看護師	2 名	介護福祉士	5 名	理学療法士	2 名
（専門職の名称）	名												
社会福祉士	2 名	看護師	2 名										
介護福祉士	5 名	理学療法士	2 名										
施設・設備の概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（居室数）</td> <td style="width: 70%;">（設備等）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機能訓練室 面談室 浴室 静養室 厨房 食堂</td> </tr> </table>	（居室数）	（設備等）		機能訓練室 面談室 浴室 静養室 厨房 食堂								
（居室数）	（設備等）												
	機能訓練室 面談室 浴室 静養室 厨房 食堂												

### ③理念・基本方針（※転載）

#### 友愛会理念

友愛会は皆様の健康で幸せな生活を願い、医療、介護、福祉の連携のもと、良質で真心のこもったサービスを提供し、その社会的責任を果たします。

#### ビジョン

地産 地育 共創 友愛

### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・医療法人が運営する通所介護として、中重度の方や医療依存度の高い方であっても受け入れ、重度化防止・自立支援の実現と、最期まで住み慣れた地域で暮らし続けてもらうよう支援している。
- ・機能訓練指導員を手厚く配置し、利用者ニーズに合わせた個別の機能訓練プログラムを提供している。通所介護の提供時間を通じて、生活リハビリを実践している。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年6月11日（契約日）～ 平成31年2月27日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成 年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### <地域の人々との交流を積極的に実施している。>

模擬店、絵手紙、水彩画、書道、脳トレーニング等地域ボランティアの講師を招き、住民も参加して、実施している。住宅地域に施設が立地しており、開かれた字義洋書として、文化祭やフリーマーケット等の事業所行事に参加を呼びかけたりして、地域との交流を深めている。

#### <地域課題やニーズに積極的に取り組んでいる。>

母体である医院がこの地に開業して120年以上経た歴史ある法人である。この地域に生まれてから最期を迎えるまで地域の人々に寄り添う体制で、地域における医療、福祉の拠点として、地域ニーズに応じた各施設を擁して、地域に貢献しており、デイサービスセンターはその一翼を担っている。

#### <機能訓練プログラムを作成した生活リハビリに取り組んでいる。>

常勤の理学療法士に加え、法人の病院からも理学療法士に定期的に加わってもらうことにより、個別、小集団という重層的なリハビリが実施されている。自立支援に基づいた機能訓練プログラムを提供している。

#### <母体である医療法人との連携を活かしたサービスを提供している。>

法人の訪問看護部との連携による医療依存度の高い利用者や中・重度の利用者の受け入れに力を入れるとともに、支援体制ができています。

#### <家族との連携強化に向けた取り組みを行っている。>

サービスの利用状況を記載した、「ふれあい手帳」を活用することで、日々の送迎時に家族に一日の状況を伝えたり、他のサービスとのスムーズな連携が可能となっている。また、毎月のモニタリングの結果表を家族に配布し、家族との連携を深めている。

### ◇改善を求められる点

#### <社会参加のプログラムを積極的に取り入れる。>

買い物に出かける、地域の行事に参加する等、社会参加のプログラムを積極的に計画に取り入れることにより、デイサービスがより楽しみなところになるとともに、なにより利用者の心身状態の活性化につながると思われるので、今後とも利用者のエンパワメントを高める観点からの社会参加を取り入れた計画作成に向けた取り組みに期待したい。

＜一人ひとりのスペースが少なく、手狭である。＞

開設16年の歴史ある施設であるが、利用者の増加や重度化のため、一人ひとりのスペースが手狭になってきている。今後ともゆったり感やくつろぎ感のある空間を演出する等、アメニティ向上のための工夫に向けた取り組みに期待したい。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、通所介護サービスのあり方や事業所経営について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する介護ニーズに対応したケアサービスの提供に努めていきたいと考えています。

#### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。